

赤報隊

【せきほうたい】

戊辰戦争時の官軍先鋒隊の一。三隊編制で、一番隊は相楽（さがら）総三を隊長とし、年貢半減を布告しつつ中山道を東進したが、総督府から偽官軍とされ、1868 年 3 月、相楽らは信濃国下諏訪で斬られた。

- 幕末辞典 -